

六甲山スノーパーク

10月20日(火)からいよいよ雪づくり開始！

～12月5日(土)シーズンオープン～

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:妹尾昭孝 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が運営する六甲山スノーパークは、12月5日(土)に今シーズンの営業を開始します。オープンに向けて、10月20日(火)から雪づくり(造雪作業)を開始します。今年は雪づくり(造雪作業)の現地に当施設マスコットキャラクター「スノイル・ワルイル」も登場し、会場を盛り上げます。

当園は、未経験者からベテランのスキーヤー、スノーボーダー、更にはご家族や学校団体での利用、外国の方など幅広くウィンターレジャーを気軽に楽しんでいただける「雪のテーマパーク」です。

今シーズンも、昨年に続き造雪システム(アイスクラッシャーシステム)による豊富な造雪量を活かして、2026年12月5日(土)から2027年3月7日(日)までの計93日間にわたりウィンターレジャーを楽しめます。

■造雪作業について

プレート式ICS(アイスクラッシャーシステム)の製氷機から空気圧を利用してパイプを通し、ゲレンデに出雪します。毎日約240tの雪で1～2つの山を造り、オープンまでに約50山を造ります。オープン前日に雪上車で平らにならし、ゲレンデを造り上げます。

【期 間】 10月20日(火)～

※ シーズンオープン後も造雪作業は続きます

【時 間】 24時間出雪

※ 造雪作業は天候等により変更・中止する場合があります

【造雪量】 約11,040t (約240t/日×46日間)

※ 記載数値はオープン日までの造雪量です

■プレート式ICS(アイスクラッシャーシステム)方式とは？

合計240枚の冷却プレートに水を垂らして氷の板を作り、ホットガスを注入してプレートから氷の板を剥がします。剥がれた氷の板は、スクリューで砕氷機に運ばれるまでに3～4cmのサイズに分断され、最終的に砕氷機で1cm前後の大きさに砕き、雪を作ります。氷の板は2分毎に20枚ずつ作られます。このシステムでは、砕氷機で雪の大きさを調整できるため、天候や気温に適した雪を供給することができます。なお、10月20日(火)にはICSの内部もご覧いただけます。



メインゲレンデ造雪作業の様子



スノイル・ワルイル

【この資料に関するお問合せ先】

六甲山スノーパーク

TEL:078-891-0366 / FAX:078-891-0757

〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-98